

わかり
やすい!

アレルギー性鼻炎治療

監修 中村 真浩先生 順天堂大学医学部 耳鼻咽喉科学講座 准教授

アレルギー性 鼻炎とは？



- くしゃみ
- 鼻水
- 鼻づまり

アレルギー性鼻炎は、花粉やダニなどの抗原（アレルゲン）が鼻粘膜から侵入し過剰な免疫反応が起こることによって、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどの症状が引き起こされる病気です。そのほか眼や鼻、のどのかゆみなどの症状を伴うこともあります。通年性アレルギー性鼻炎（一年を通して症状が出るタイプ）と、季節性アレルギー性鼻炎（特定の季節に症状が出るタイプ、いわゆる花粉症）とがあり、日本人の2人に1人が発症していると言われています。

通年性

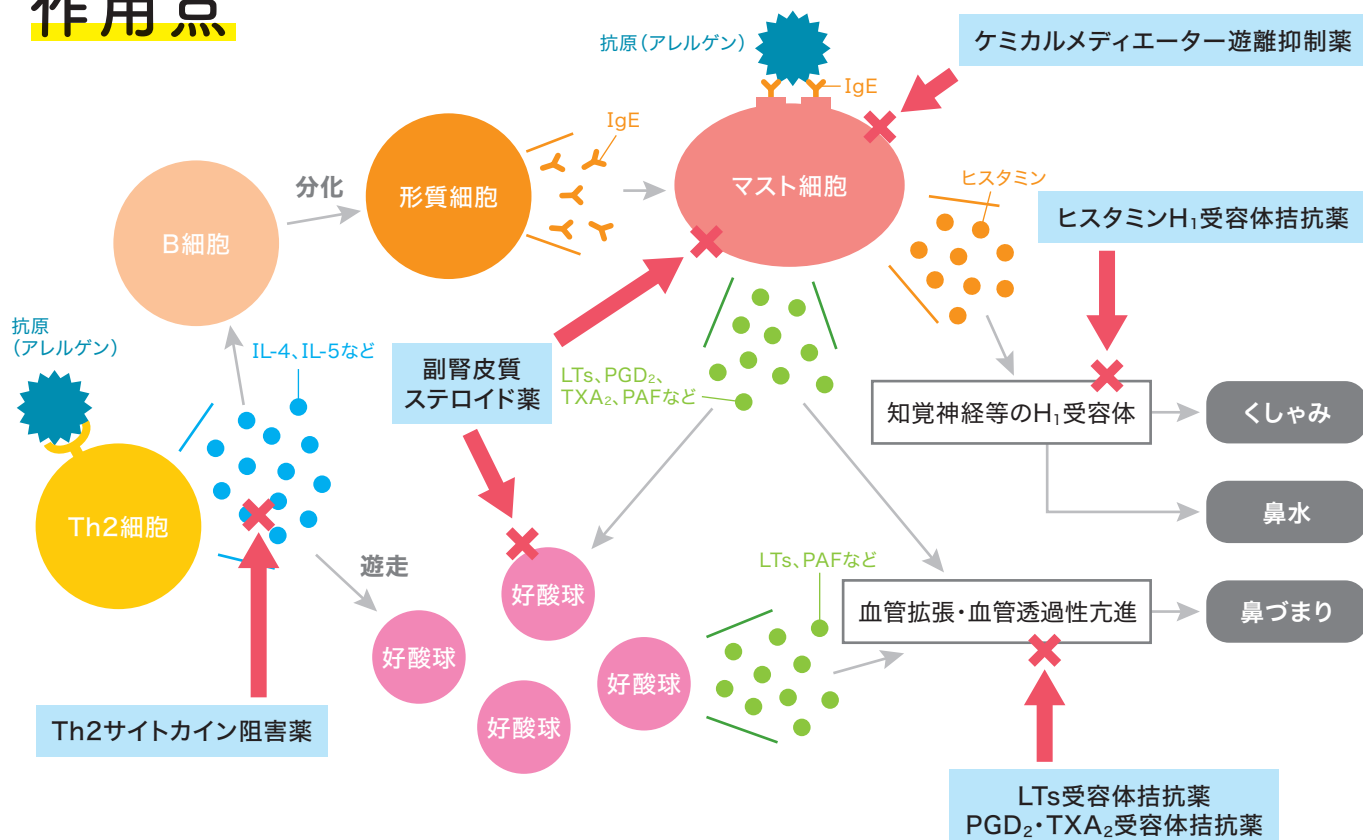
ダニ、動物、カビ、
ハウスダスト など

季節性（花粉症）

ハンノキ属 … 1月～6月	イネ科 … 3月～10月
ヒノキ … 2月～6月	ヨモギ属 … 7月～10月
シラカンバ … 4月～6月	ブタクサ属 … 8月～10月
スギ属 … 10月～5月	カナムグラ … 8月～11月

地域により花粉の飛散シーズン、飛散量は異なります。

アレルギー性鼻炎治療薬（内服）の 作用点



LTs:ロイコトリエン PGD₂:プロスタグランジンD₂ TXA₂:トロンボキサンA₂
PAF:血小板活性因子 IL:インターロイキン

アレルギー性鼻炎治療薬(内服)一覧

分類		薬のはたらき	一般名	おもな副作用
ヒスタミンH ₁ 受容体拮抗薬	第1世代		□d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 □クレマスチンフマル酸塩 など	眠気、けいれん、口渇、鼻乾燥、便秘、 排尿障害、視調節障害、悪心・嘔吐など
	第2世代	ヒスタミンの作用を抑える 特にくしゃみ、 鼻水に効果があるが、 鼻づまりに効果を示す ものもある	□アゼラスチン塩酸塩 □フェキソフェナジン塩酸塩 □エバスタチン □ペボタスチンベシル酸塩 □エピナスチン塩酸塩 □メキタジン □エメダスチンフマル酸塩 □ルパタジンフマル酸塩 □オキサトミド □レボセチリジン塩酸塩 □オロパタジン塩酸塩 □ロラタジン □ケトチフェンフマル酸塩 □フェキソフェナジン塩酸塩・ □セチリジン塩酸塩 塩酸プソイドエフェドリン配合剤 □デスロラタジン □ビラスチン	眠気、けいれん、口渇、便秘、 排尿障害など
ロイコトリエン受容体拮抗薬		ロイコトリエンの作用を抑える 特に鼻づまりに効果を示す	□برانلカスト水和物 □モンテルカストナトリウム	倦怠感、下痢、悪心、肝機能障害、 発疹など
ケミカルメディエーター遊離抑制薬		ヒスタミンやロイコトリエンなどの分泌を抑える	□トラニラスト □ベミロラστοカリウム	肝障害、腎障害、膀胱炎様症状、 血小板減少、白血球数減少など
プロスタグランジンD ₂ ・ トロンボキサンA ₂ 受容体拮抗薬		トロンボキサンA ₂ や プロスタグランジンD ₂ の作用を抑える 特に鼻づまりに効果を示す	□ラマトロバン	肝障害、腹痛、胃部不快感など
Th2サイトカイン阻害薬		Th2細胞から分泌される化学物質の作用を抑える	□スプラタストシル酸塩	肝障害、ネフローゼ症候群など
副腎皮質ステロイド薬・ ヒスタミンH ₁ 受容体拮抗薬配合剤		炎症を抑える ヒスタミンの作用を抑える	□ベタメタゾン・d-クロルフェニラミンマレイン酸塩配合剤	眠気、不眠、頭重感、悪心・嘔吐、食欲不振、 下痢、胃潰瘍、口渇、倦怠感、満月様顔貌、 体重増加、発疹、光線過敏症など

上記の内服薬の他、点鼻薬や注射薬等で治療が行われる場合があります。

季節性アレルギー性鼻炎(花粉症)では

初期療法が重要

花粉が本格的に飛び始める1～2週間前から、治療を始めることを「初期療法」といいます。早めに治療を開始することで、症状が出る時期を短くしたり、花粉の飛散が一番多い時期の症状を軽くしたりできる可能性があります。



眠気、インペアード・パフォーマンス

ヒスタミンH₁受容体拮抗薬を服用すると、眠気を感じるがありますが、そのほか、自分でも気づかぬうちに集中力・判断力・作業能率が低下することがあり、これを「インペアード・パフォーマンス」といいます。これらの副作用は、ヒスタミンH₁受容体拮抗薬が脳内のヒスタミンの働きを抑えることで生じると考えられており、眠気の出にくい非鎮静性のお薬もあります。自動車の運転など危険を伴う機械の操作に従事される方や、眠気、インペアード・パフォーマンスについて気になる方は、主治医または薬剤師にご相談ください。